



にしく市民活動支援センター
にしとも広場

人と活動のつながりづくりを応援する

にしとも広場

2017

9号





ママっこブラスにし

<http://ameblo.jp/mamaccobrass>

見学歓迎! 依頼 OK

西区初?!ママだけのブラスバンドとして、2016年1月に結成し、地域の納涼祭、コミュニティハウスのお祭りなど、活躍の場を広げています。

3名で始まった活動ですが、子育てサロンや幼稚園のつながり、ブログでの発信などで、現在は10名、子ども達も入れると総勢25名になりました。子どもを預けて活動するのではなく、

練習にも連れてこよう、舞台にも一緒に立つちゃおう、というのが特徴で、子ども達も鈴やトライアングルをもって演奏をします。

メンバーの田畑さんは、お子さんが乳幼児の頃は、演奏なんてできるはずがないと思い、我慢していたと言います。それはメンバーにも共通して実感があり、子どもと一緒に練習や舞台に立つスタイルは、当初から自然に決まりました。

また、自分たちが楽しむだけでなく、地域とのつながりを大事にしたいと考えています。子育ては一人ではできず、地域の人の理解も必要であることを実感したそうです。

子育て中だからこそ、仲間づくりの場として、ママたちへのエールとして、地域を盛り上げる活動として、大事な場になっています。



練習も本番も、お子さんと一緒に活動しています

音楽はライフワーク!



「おもちゃのはこ」(写真左)とコラボレーション

音楽があることで、出会える仲間、引き出される魅力があります。音楽を通して交流が生まれ、演奏することで自分を表現でき、時には社会参加の手段にもなっています。音楽でつながる人の輪に、演奏者として、参加者として、企画者として?!あなたも入ってみませんか?



ママ音楽ユニット ♪ ショコラッティ ♪

<https://chocolatti.jimdo.com/>

見学歓迎! 依頼 OK

未就園児のママが活躍中!子育てに追われて笑顔を忘れがちなママだけど、人前できらきら輝く場がほしい。そんな姿を見せることは、子どもにとっても良いのでは...そんな思いから、活動が始まりました。

コンサートでは、子どもを抱っこして出演。パワフルな演奏ながら、リラックスしている様子に安心感があり、聴く方も自由に過ごせる雰囲気です。子育て支援拠点、老人ホームなど

からの依頼に応じて活動中で、メンバーの特技を活かして、ピアノ演奏や歌、リトミックなど多様なプログラムがあります。

2015年、親子一緒に参加できる「おもちゃのはこ」主催のコンサートで、西村さんと高さんが出会い、代表の西村さんの「こんなことできたらな」に共感して、その場で結成しました。現在は18名のメンバーと、時にはお父さんも活躍する場になっています。また、出会いの場となった「おもちゃのはこ」は、子育て中に生の音楽を聴いて、親子で気分転換することを大切にしており、音楽でつながった縁で、一緒に出演することもあります。

西村さんは、「子育てしながらも、やりたいことを諦めない。私たちが出会えたように、何かやりたいという人が気軽に集まれる、敷居の低い集まりにしたい」と言います。さらさらした笑顔が伝わって、演奏を聴く人にも笑顔が広がります。



音のりぼん

<https://otono-ribon.jimdo.com/> メール：otono-ribon@tbz.t-com.ne.jp（担当：五井さん）

依頼 OK

音のりぼんは、脳性麻痺、自閉症、ダウン症などのハンディを持ちながら、演奏活動をしているグループです。岩崎さん、清水さん、五井さん、小柳さんの4人は、各々に演奏活動をしていましたが、2012年、コンサートでの出会いを機に結成。全員20代のグループで、ピアノを中心に演奏を行っています。

演奏会は、リコーダーやフルートなども使ったアンサンブル演奏でにぎやかにスタート。それから楽器を変えて、1人ずつピアノ演奏を行います。各々の音色がとも豊かで、同じピアノを弾いているとは思えないほどです。ダウン症による筋力のなさは優しい音色に、自閉症の強いこだわりは集中力とエネルギーに、脳性麻痺の身体障がい、指一本しか動かなかったエネルギーが見ている人を圧倒します。メンバーの中には、音楽院を卒業している方、海外での演奏経験がある方もいます。

演奏会の最後には、来場者と一緒に『上を向いて歩こう』を歌います。音楽が表現の懸け橋となり、さまざまな人との出会いにつながっています。



ラテンパーカッション 加藤ちゃぼさん

メール：latin-beat@ezweb.ne.jp

『加藤ちゃぼのラテンな情報紙』を毎月発行！にしとも広場でも手に取れます。

依頼 OK

「ラテン打楽器の教え屋」として14年。小中高生向けのラテンパーカッション指導や、障がいのある方向けに打楽器でリズムを楽しむ活動をしています。キューバ音楽とブラジル音楽をベースに、音程のない打楽器の自由さ、年代を問わず手軽に楽しめる良さを活かしています。

原則第4月曜には、西区地域活動ホームで知的障がいのある方と演奏をします。アルミのボウル、菜箸なども楽器にして、リクエストの曲に合わせて叩きます。参加している方は、時に、楽器を使わずに踊ったり、面白い音がすると笑ったり、リズムにあわせて自然と体が動きます。叩く楽しさと共に、全員で音を出せる爽快感、一体感があります。

この演奏スタイルは、自由に何でもありに見えて、根底には、高音と低音の組み合わせという、サンバの音楽があります。ラテン打楽器をベースに、曲や楽器を自由に組み合わせることで、誰でも楽しめる活動になっています。



こうした参加型プログラムのベースには、個別の演奏活動を長く続けてきた経験と技術があります。口笛の清涼感ある響きと、息のあったピアノ演奏に感動し、演奏後には、「素晴らしいかった」「亡くなった父に聞かされたかった」など感想を伝えてくれる人も多そうです。リピーターも多く、人から人への評判で、年間50本の演奏を行っています。

口笛とトーク担当が小國さん、ピアノを中心に楽器を担当し、音楽療法士の資格も持っているのが佐上さんです。「はい、それでは手を上げる練習をしますよ」というテンポのよい声かけで、ピアノのイントロクイズが始まり、外れても当たっても、笑い声が上がります。演奏を聞きつつ、口ずさむ姿も多くあります。

コラボレーションの音楽 ～口笛とピアノの出会い～

横浜サウンドストリーム

メール：bayoguni@tbz.t-com.ne.jp

依頼 OK

2011年4月、イベントでのコラボをきっかけに結成。シーンとなつて演奏を聞くより、一緒に楽しんでもらいたいという思いから、口笛に合わせたラジオ体操など、会場も一体となつて参加できる演奏を行っています。



音楽で奏でる彩るまち



年間40本もの音楽イベントを企画運営するアーケシップにとっても、このイベントは全員が参加する特別なもの。事務局の他、100名以上のボランティアが参加し、出演者探しや依頼、パンフレットのデザインや会場のレイアウトまで、ゼロからみんなで作り上げていきます。音楽イベントが好きな人はもちろん、人とワイワイすることが好きな人、日常とは違う感動を味わいたい人などが集まって運営する、ハッピーな音楽イベントです。(2017年は、10月15日(日)に開催予定)

「音楽でたくさんのハッピーを生み出す」をモットーにしたNPO法人アーケシップでは、日本大通り、横浜公園などで「ホッチポッチミュージックフェスティバル」を毎年開催しています。「ホッチポッチ」は「ごちゃまぜ」の意味。

音楽でホッチポッチなまちへ
<http://www.arcship.jp/>

ボランティアはいつでも募集中!



NPO法人アーケシップ
代表 長谷川篤司さん

「アーケシップがマヨネーズの卵になればいいね」と話しています。お酢と油だけでは本来つながらないのに、卵を加えて混ぜるとマヨネーズ(一体)になる。アーケシップがこの卵の存在になり、音楽を通じて異分野の団体や異なる国籍、障がいの有無も関係なくつながる事が出来るごちゃまぜ(ホッチポッチ)な音楽祭を創りたいと考えています。

その朝市の一角で披露したのが、戸部大通りのテーマソング『戸部で飛べ!』です。事前イベントで、戸部小学校の5年生有志と「特命子ども地域アクター」の子どもたちが作詞し、銭湯「松島館」の洗い場に機材を運び込んで録音しました。当日は、ビール箱を並べたステージの上で、30分ごとに歌って、朝市を盛り上げました。

※特命子ども地域アクター
小学生・高校生が課題を抱える地域に出向き、イベント等を通じて応援する取組。NPO法人ミニシティ・プラスと神奈川県が協働で実施。

戸部大通り商店会では、2016年11月20日に「戸部大通り子ども朝市」を開催しました。「特命子ども地域アクター※」に参加する県内の子どもたちが、商店会と共に企画したイベントで、地域の子もたちが店長になって、「子どもカフェ」や「ゲームセンター」、「大人の悩み相談室」などのお店を開きました。

まちのテーマソングを子どもたちの手で

戸部大通り商店会
会長 大塚真司さん



音楽の力はすごいんだ。楽しいし、子どもたちがすごく乗ってくる。音楽が人を惹きつけるんだよね。今後は、「さくらフェスタ」や「虫の音を聞く会」、「ふれあいの夕べ」といった商店会として参加する地域のお祭りなどでも流していきたいな。せっかく子どもたちが作ったんだからね。



カルディ・歌の会

戸部の岩亀横丁にある喫茶店「カルディ」。毎月1回20名程がここに集い、ピアノに合わせて唱歌を歌っています。途中、サイフォンコーヒーと手作りケーキでひと休みもあります。

日 時：毎月第3土曜日 15時～16時半
参加費：1000円(コーヒー・ケーキ付)
住 所：西区戸部町4-152
TEL：045-242-8066



アクティブシニアの Music House

戸部本町地域ケアプラザの事業として、ビートルズやグループサウンズ世代が集まる場があります。「上手くても下手でもOK。来た人みんなが参加する!」をモットーに、楽器のある人は演奏し、歌いたい人は歌います。

日 時：毎月第1土曜日 15時半～17時
参加費：無料
住 所：西区戸部本町50-33
TEL：045-321-3200(戸部本町地域ケアプラザ)



カラオケ コミュニケーション ハウス 音知

カラオケボックスでもスナックでもない不思議な空間。15人も入ればいっぱいのにカラオケ好きが集まります。参加者が多い時はおしゃべりに花が咲き、少ない日は歌い放題です。

日 時：ほぼ毎日 13時～17時
参加費：600円(お菓子と飲み物付)
住 所：西区中央1-8-2(御所山交差点そば)
TEL：045-320-0345

音楽で見つけた! 自分の居場所

音楽で仲間を見つけ、楽しんでいる人たちが、まちのあちこちにいます。その中でも、いつでも気軽に参加できる活動を紹介します。このほか「にしとも広場」にもコーラスやオカリナ、詩吟など音楽系サークルの登録があります。お気軽にお問合せください。

お問合せ先 TEL：045-620-6624
にしく市民活動支援センター”にしとも広場”

にしとも広場の使い方

リソグラフ活用！二色印刷のススメ編



＊サンプル

カラー印刷の予算はないけど、チラシを目立たせたい…
そんな時はリソグラフで赤を効果的に使った印刷がおすすめです！

1 タイトルなど目立たせたいところを赤字に

2 用紙は、色紙と組み合わせる

色紙を使うだけで、グッと内容が引き立ちます。
ちょっと値が張りますが、クラフト紙を使うのも GOOD！

3 原稿は、デジタルデータで印刷

製版用の原稿は、紙ではなくデジタルデータ（ワードや PDF など）に
することで、見違えるほどきれいに印刷できます。

それぞれ、印刷のコツがありますので、
詳しくは当センターのスタッフまでお問合せください。

表紙のこと

左：「神奈川健生音楽団」

伊勢佐木町 4 丁目にある「CROSS STREET」で、第 1・3 木曜の 15 時～16 時 30 分に「歌声サロン・伊勢佐木」を開催しています。生の音楽を間近で聴ける迫力と、一緒に歌える爽快感が人気です。

右：「スズキ企画」

「生活創造空間にし」では月 4 回程度、ランチコンサートを実施しています。「スズキ企画」は、その内の 1 つで、鈴木さんのギターの引き語りや、ピアノや歌手とのコラボ企画などを行います。会場には、障がいのある方、親子連れ、近くに住む方など。それぞれの過ごし方で演奏を楽しめる雰囲気にはっとします。

取材から見たのは、音楽を介して、演奏する人も聴く人も、お互いが力になっていることでした。聴く人が楽しんでいる、その気持ちが演奏者の力に。演奏者の奏でる音色や、その表現が聴く人の力に。こんな風に音楽の楽しみを分かち合う「音楽仲間」のいることが、暮らしに彩りを添えているように感じました。

(ま)

“にしとも広場” ってどんなところ？

にしく市民活動支援センター“にしとも広場”は、人と活動のつながりづくりを応援する場です。

「何か始めたい」「活動の場を広げたい」「活動に役立つ情報を知りたい」といったご相談をお待ちしています。ぜひ一度お立ち寄りください。



にしく市民活動支援センター
にしとも広場

(管理運営：認定NPO法人市民セクターよこはま)

TEL/FAX 045-620-6624

Eメール ni-shientcenter@star.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.nishitomo.city.yokohama.lg.jp/>

住所 横浜市西区中央1-5-10 西区役所1階

開館時間 9:00～17:00

休館日：毎週水曜日・年末年始(12/29～1/3)

アクセス 京浜急行「戸部駅」徒歩 8 分
相模鉄道「平沼橋駅」徒歩 10 分

